

# みんなで守ろう岐阜市の自然

岐阜市自然ふれあい地域ビジョン策定ワークショップ 第21号 平成18年6月発行

## はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。このような状況の中、現在ある岐阜市の貴重な自然環境を、次世代に残し伝えることが、私たちの役割です。

そのための第一歩として「**岐阜市自然ふれあい地域ビジョン**」策定に取り組みます！！



## 達目洞の希少種移植 & 稲作（6月5日、9日、11日）

- ・希少植物の移植作業（6月5日）
- ・田植えの準備 代掻き作業（6月5日）
- ・いよいよ田植えのはじまり！！（6月9日、11日）

## 希少植物の移植作業

達目洞も、梅雨を迎える直前、多くの植物がものすごい勢いで成長をしています。その多くの植物の中に、ミゾコウジュという珍しいシソ科の植物を発見しました。日当たりのよい水田の畔などに生育するミゾコウジュは近年急激に減少しており、レッドデータブックにも記載されている絶滅危惧種です。そのミゾコウジュが作業道上に確認され、一部が人に踏まれて折れていた状況で見つかったため、急遽、踏まれる心配のない所へ移植しました。

その一方、水路を埋め尽くすように広がっていた外来植物のオランダガラシ（通称クレソン）については、除去を行って水の流れを確保しつつ、来年以降クレソンが密生しないように、土の中の根もできる限り引き上げていきました。



水路にびっしり生えていた  
クレソンを除去しました。



人や車に踏まれ  
ない場所に  
移植を行いました。

## 田植えの準備 代掻き作業

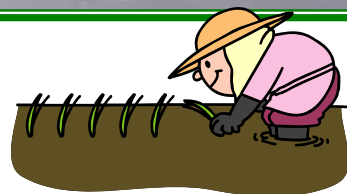
稲作作業を進めている水田では、前回の活動で整備した畦から水が抜けることもなく、達目洞特有の土の軟らかさにトラクターが埋まらないよう気を付けながら代掻き作業を行いました。それと同時に田植えに備えて満遍なく肥料を撒く作業も行いました。そして、いよいよ田植えの準備が整いました。

代掻きを行いながら肥料を撒いていきました。



## いよいよ田植えのはじまり！！

田植えができるようになるまでには、本当に色々なことがありました。達目洞特有の土の柔らかさのため、途中で機械が横倒しになったり、水田に埋まったりもしました。また、水田から



水が抜けないように畔を塗り固めていきました。とにかく色々なことを試みながら、何とか田植えをすることろまで、こぎつけました。稲作経験者の指導のもと、皆が汗だくになって、水田湿地の維持管理へのスタートを切ることが出来ました。



## おわりに

実際にやってみると、達目洞の水田を維持することは本当に大変だと実感します。一般的な水田に比べて非常に柔らかいため、機械が使えず手作業に頼らざるを得ない所も多い地域です。代掻き一つとっても何回も機械が横転しかけ、泥にはまって動けなくなりました。しかし、そういうことも乗り越えて、今、再び水田には稲が植えられました。この取り組みが今後どのように発展するのか楽しみです。

田植機で植えることができる場所は機械で植えていきました。

田んぼが柔らかくて機械が入らないところは、みんなで手分けして手作業で植えていきました。



## 自然ふれあい地域ビジョンに関する問い合わせ

岐阜市 人・自然共生部 みどり自然室 担当：吉村

TEL：058-265-4141 FAX：058-267-1374

E-mail：midori@city.gifu.gifu.jp

みどり自然室 HP アドレス：http://www.city.gifu.gifu.jp/splash/midori/index.html